



平成22年度明星ヶ丘夏季企画展 太古の世界にタイムスリップ

恐竜のいた時代について想像を膨らませて興味を持ってもらおうと7月24日から8月29日まで、明星ヶ丘民俗資料館で明星ヶ丘夏季企画展が開催されました。

今回の企画展は恐竜化石をメインとしたもので、当町出身の大野作太郎先生と大変親交が深かった林原自然科学博物館名誉館長である、石井健一博士の「大野先生の地元の子供たちに恐竜化石を是非見せてあげたい」という強い思いから、林原自然科学博物館の協力のもと開催する運びとなりました。

7月24日のオープニングイベントには、町内外から約200人の小学生が訪れ、資料館に展示されていた恐竜の頭骨をみるなり、「あっ、ティラノサウルスだ」などと声をあげ、副館長の石垣先生の説明が始まると、身じろぎもしないで、話に耳を傾けていました。

また、屋外に設置されていたアンモナイト発掘体験や化石レプリカ作り体験のコーナーでは、一心不乱に楽しんでいました。

そのあと、場所を日吉住民センターに移し、石井館長から恐竜学についての講演があり、参加者らは興味深そうに聞き入っていました。



生まれてくる子どものために

パパママ学級

父親に妊婦体験をしてもらい、妊婦の大変さや苦勞を理解してもらうことで、産後の子育てを協力して行ってもらおうと7月18日、広見保健センターで、パパママ学級が行われました。

間もなく出産を控えている3家庭の参加があったこの日は、保健師の説明やビデオ上映のあと、実際に父親に12キログラムの妊娠シミュレーターを着用してもらい、模擬妊婦体験を行いました。寝た状態から起き上がることや、階段の上り下りなどの体験をした参加者の方々は、予想以上の重さに驚いた様子でした。

そのあとは、助産師の指導を受けながら沐浴体験をして、入浴の方法を学び、実りある学習になった様子でした。